

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地元間伐材と古材を利用した活動拠点の整備を通じた、林業、環境、建築、防災に関する課題解決と教育プログラムの構築
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 フォレスト工房もくり 飯山市大字豊田1105
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,472,313 円 (うち支援金: 2,317,000 円)

#### 事業内容

フォレスト工房もくりでは、荒廃した田畑や人工林を整備する「里山保全事業」と里山の価値の再発見や都市農村交流をすすめる「里山交流事業」を行っています。森林は、地球環境保全 (CO2 の吸収)、土砂災害防止機能、水源涵養機能などの公益的機能を有していますが、森に入る機会が無くなった現在では、実体験を持ってその働きを理解することは難しくなっています。そこで、間伐から製材・建築までの一連の流れを体験しながら、これらの課題解決のための「地域経済循環」を知り、「関わる人材の育成」、「関わりたくなる産業の構築」を目指して森林資源を有効に消費する「木遣い」ができる人材の育成を目指しました。



【講習の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 関係人口 300 名/年(本事業において)
- ② 年30名伐木造材スキルを持った担手を確保
- ③ 森林資源の活用を担う学生の学び場
- ④ 地域と来訪者による人工林の整備

#### 事業効果

- ・事業として、森に関する講義、伐木・造材の基本スキルの習得と作業体験を行い、延べ 47 名の担手が輩出された。伐り出した間伐材と古材を活用した活動拠点の整備を行うため、製材作業や基礎づくり等の行程を、職人の指導のもと行い作業を通じてのべ 120 名の参加があった。
- ・建築学科の学生を中心に、建築に関わる人材が県産材に触れる機会となった。
- ・練習を兼ね伐倒・搬出などをしたことで、地域内外の方々が関わって里山整備を進めることができた。
- ・災害ボランティアを担う日本笑顔プロジェクト (小布施町) との連携が生まれ、チェーンソーが災害時にも有効な技術となるという意識を持つ方が増えたと実感できた。

#### ※自己評価 【A】

【理由】  
Covid-19 の影響がありながらも、参加者は 100 名を超えることができた。また、伐木造材講習や基礎づくり体験は好評で、連携した団体との継続的な企画に発展した。森林整備や防災意識向上の機会にもなり、充実した取り組みとなった。

#### 今後の取り組み

チェーンソー講習参加者へ森林の現況を話す機会は、防災意識や森林の維持管理をしていくことの重要性を林業に今まで関わる事がなかった層へ伝える機会となり、今後消費や木材利用の意識を変えるきっかけとなった。森への関わる機会を新たなに創ることで、林業以外の視点で森に関わる活動や、経済的価値や交流の充実による地域・地元定着に繋げていきたい。森を通じて環境、建築、防災に貢献するような人材の育成を支援していくため、地域の拠点を引き続きつくりたい。